



ネットワークの名前の由来

サンタックおたすけ隊は、平成29年4月に立ち上がった三宅小学校校区内の事業所ネットワークです。三宅を“さんたく”と読み替えて、さんたく→サンタックと三宅公民館長が名づけられました。サンタックは三宅校区内で“カフェサンタック”など校区内の愛称として用いられています。

当事業所ネットワークでも、三宅校区“サンタック”の愛称にあやかり、「**サンタック(三宅)おたすけ隊**」と名づけていただいたことが名称の由来となります。

ネットワーク立ち上げの経緯

三宅校区では、複数の介護事業所が存在しており、それぞれの事業所でそれぞれの地域活動をこれまでも展開してきました。

しかし、これから超高齢化社会を迎えるにあたり地域包括ケアシステムの構築が急務であることに加え、地域住民との連携と事業者間の横のつながりが大きな課題となっていました。

行政、社協、包括からの“繋がる”お手伝いもいただきながら、平成29年4月「三宅校区事業所連絡協議会」を立ち上げることとなりました。

それぞれの事業所の担当者の方と会議を重ねることと地域のネットワーク代表者の方ともご縁をいただき少しずつ、事業所と地域の“顔の見える関係”ができてきました。

サンタックおたすけ隊の理念として、“**地域に愛される事業運営を..**”事業所間で共有することができました。少しずつですが、地域の方ともワークショップなども重ねることができてきています。

活動内容

● 高齢者会食の送迎支援

事業所の車輛を使用し、公民館から離れた場所に住む高齢者の送迎支援の実施。(2日間)

● 校区夏祭りの設営及び参加

夏祭り当日のテント張りや各種設営を事業所スタッフが応援。夏祭りにも事業所の高齢者も参加させていただき、「福祉テント」を設けていただいている。

● 校区敬老会の設営及び当日のお手伝い

三宅校区は高齢者人口も多く、小学校の体育館で開催され、大規模の設営が必要であり前日の準備を事業所スタッフが応援。当日も、体育館が2Fにあるため高齢者の階段昇降の介添えなどの役割を一部担っている。

● 三世代交流会のスタッフ派遣

高齢者から子供までが参加できるウォークラリー交流会を校区社会福祉協議会で開催されている。事業所スタッフが、各チェックポイントでの役割を一部担っている。

● 校区文化祭の準備及び当日の参加

文化祭の準備設営のお手伝いと、当日には事業所の高齢者が参加し地域住民とのふれあい。

● 毎月のカフェに「介護相談ブース」の展開

介護支援専門員を中心にカフェに参加しながら必要に応じて専門的な相談できるように対応実施。

● 青パトの運行に一部参加

校区内の青色防犯パトロールに参加し運行及び添乗業務の一部を担っている。

Community Voice

地域からのメッセージ

カフェ「サン・タック」も平成27年9月より、にこにこウォーキングと連携して、校区の皆さんが気軽に利用出来る交流の場として立ち上がりました。月平均60～70名の皆さんが参加利用されています。又、校区内の介護事業所、区社協、いきいきセンターの専門の方の参加も有り、気軽に介護の相談も出来る様になっています。又、サンタックおたすけ隊の発足も有り校区事業に参加頂いて本当に助かっています。これからの高齢者時代に向けて、地域事業所等、地域住民とのつながり作りに、協力をお願いします。

三宅校区社会福祉協議会
会長 中西 芳博

